

第九回日蓮宗教化学研究発表大会

## チベットの事実をみつめて

——仏教を共に大切にする者として一歩を進めよう——

星 光 諭

### はじめに

「チベットは、一九四九（昭和二十四）年に中国に侵略されるまで、約二、〇〇〇年間にわたって、ずっと独立国家でした」

チベットは八、八四八メートルの最高峰「チョモランマ」と「バンドラ」で有名ですが、平均標高は何と富士山より高い四、〇〇〇メートルの場所にあり、豊かな広大な自然の中で、チベット人約六〇〇万人は主に農業と牧畜で生活をしています。

仏教を中心とした文化とチベット仏教、もちろんチベット語を話し、歴代ダライ・ラマ法王の住居であった「ポタラ宮」の素晴しさには目を見張ります。

### 中国によるチベット侵略

ところが一九四九年に毛沢東の「中華人民共和国」が成立すると、中国共産党の軍隊が国境を越えてチベットに侵

入し、平和の民で軍隊らしい軍隊を持たないチベットをたちまち打ち負かし、一九五一（昭和二十六）年五月、中国政府はチベット政府に「中共・チベット十七条協定」を力で調印させ、実質上占領をはじめ、一九六五（昭和四十）年には「チベット自治区」として成立させて支配、今に至っています。しかもこの「自治区」は前の領土の半分にはらされています。

## チベットの苦難

チベットの苦難はこの一九四九（昭和二十四）の中国の侵略から始まりました。この年より中国による、政治的迫害、殺傷、投獄、拷問等々、弾圧がはじまり、死亡したチベット人は「チベット人口の約六分の一にあたる一二〇万人以上にのぼり、六、〇〇〇以上の寺院が跡形もなく破壊された」と発表されています。

この間、チベットの政教両面の最高指導者、ダライ・ラマ法王十四世は、一九五九（昭和三十四）年に首都ラサで起こったチベット人民による民族蜂起を中国の軍隊が残虐に弾圧したため、難を逃れてインドに亡命しました。現在は北インドのダラムサラにチベット政府を再建し、同じ難を逃れてきた十万人以上の難民とともに、祖国復帰を目指して苦難の生活を強いられています。

## ダライ・ラマ法王十四世

ダライ・ラマ十四世は、現在のチベットの指導者です。一九三五（昭和十）年七月六日、チベット北東部青海省平安県の小村タクツェルに生まれ、二歳の時ダライ・ラマ十三世の転生者であると認定され、一九四〇（昭和十五）年、五歳の時、十四世ダライ・ラマとして即位、首都ラサに居住していました。チベットの人々が信仰しているチベット仏教では、慈悲の菩薩、観音菩薩がチベットの守り本尊だとされていますが、ダライ・ラマ法王はこの観音菩薩の化

身（生まれ変わり）だと信じられています。

「菩薩」とはいうまでもなく、悟りを得ているのに涅槃（永遠に平安な世界）に入らず、あえてこの世界に生まれてきて、様々に悩み苦しむ生きとし生けるものを救済する者のことをいいます。

今でもチベットの人々はダライ・ラマ十四世を厚く尊敬し、心から愛し信じてその教えに耳をかたむけています。チベットの圧政から難を逃れ、インドにいるダライ・ラマを慕ってヒマラヤを越え、死を覚悟でドラムサラに亡命してくるチベット人が子供を含めて後を絶ちません。

ダライ・ラマは常に「慈悲と非暴力」を唱え続け、自国が最悪の侵略を受けている真つ只中でさえその姿勢を貫いています。一九八九（平成元）年には、チベットの自由を求める非暴力の活動が認められて「ノーベル平和賞」を受賞しました。「北京オリンピック」での怒りを抑えた発言はまだ記憶に新しいところです。

なぜなら今年三月十日、拉萨で中国政府の圧政に対して僧侶や市民らの抗議行動が再び激化して多数のチベット人が殺されたばかりの時期でした。（真相の事実が、永だ明かにされています）

## チベットの人々の願い

チベット仏教の象徴ともいえるべき、「ポタラ宮」は、今、信仰の寺院というよりも「博物館」の扱いとなり、三〇〇〇人いた僧侶は三〇〇〇人になっているといえます。

今「チベット自治区」に住んでいるチベットの人々は、チベットの国旗を持つことも、チベット語を使うことも、仏像を大切にすることも、ダライ・ラマの写真を持つことも共産党一党独裁の中国政府に禁じられています。

チベットの人々が、今もつとも望んでいることは、自分達の言葉を自由に話すことができ、チベットのことでも自由に話すことができ、お詣りも、信仰も、ダライ・ラマを敬うことも自由にでき、心安らかに自然とともに暮らすこと

ができるというあたりまえの願いだけと訴えています。

「仏教」をともに大切にする者として。同じ「仏教徒」として。和を尊ぶ「仏教文化」をともに大切にしたいという同じ願いの者として。更には「立正安国」の教えをいただく日蓮聖人の弟子の一分として、私たちがこれからできることの一歩をみなさんとともに進めたいと念願しています。

\* \* \* \* \*

付記 「チベット」の仏教・文化・歴史・受難の事実等を広く知ってもらう為の、「手づくりチベット展」の開催を希望のご寺院は、左記「地涌塾」までご一報下さい。お手伝いさせていただきます。

〒三五〇〇八二四 埼玉県川越市石原町一―四―九本応寺内

TEL: 〇四九―二二五―二二五〇 FAX: 〇四九―二二五―二二五一

地涌塾ホームページ <http://www.jiyujuku.jp>



インドのダラムサラで25日、亡命チベット人学校の創立記念日の式典に出席したダライ・ラマ14世＝A P

# ダライ・ラマ「中国に失望」

## 対話の是非 論議へ

【ニューデリー＝小澤史】チベット仏教の最高指導者ダライ・ラマ14世は25日、チベット亡命政府のあるインド北部ダラムサラで、中国との対話路線について「中国指導部に失望した」と語った。そのうえで、11月にダラムサラで開く命チベット人の代表を集めた緊急会議に、対話路線を続けるかどうかの議論をゆだねる考えを示した。

同日にあった亡命チベット人の学校での武典の祝賀の中で述べた。側近のチン・ソン・タクラ氏が朝日新聞記者に明らかにした。

「中国側から前向きな対話願いでいて、ダライ・ラマは『中間から前向きな反応がない、私の責任の眼で、互いに受け入れ可能な解決策を見つめよう』と努めてきたが、現在の中国指導部には失望した」と語った。

ダライ・ラマは9月、各地から数百人の亡命チベット人を集めた緊急会議を開くことを呼びかけた。会議は11月17、18日に開かれる。会議についてダライ・ラマは「チベット問題にはダライ・ラマ個人でなすチベット人生活の問題、効的な他の選択肢を探ってほしい。結論はすぐに出ないだろう。これが始まりになる」と述べた。

- チベット問題のこれまで
- 1961年 中国軍がチベットの中心都市ラサに進駐
  - 59年 チベット動乱。ダライ・ラマがインドに亡命
  - 65年 チベット自治区成立
  - 79年 鄧小平がチベット問題で柔軟姿勢を示す
  - 88年 ダライ・ラマが「高度な自治」へ要求転換
  - 89年 ラサで大規模デモ、市内に戒厳令/ダライ・ラマにノーベル平和賞
  - 95年 チベット仏教ナンバー2、パンチェン・ラマ11世の認定で中国と亡命政府が対立
  - 2002年 中国とダライ・ラマ特使の直接対話開始
  - 08年 チベット騒乱

亡命政府の首脳大の直接交渉に意味はない」とし、亡命チベット人の間でも対話継続に疑問の声が出ている。ダライ・ラマが将来の路線の議論をゆだねた背景には、73歳で健康問題もある自身の死後を運動が弱体化しないよううらしたい意向もあるとみられる。今年3月には、01年に

## 中国は妥協せず

【北京＝峯村健司】中国政府が今春、ダライ・ラマ14世側との対話再開を決断した最大の要因は、8月の北京五輪を成功させるため、「緊迫的な圧力をかかすための外交的要素がなくなった。五輪が終わって、国際社会の指圧が緩む」と、中国側には妥協する必要がなくなった。経済成長の鈍化や格差対策などの国内問題が噴出し、「チベット問題は急務の問題ではなくなった」（中国政府筋）という面もある。

中国筋によると、5月7ヶ月の間の対話では、双方の

亡命政府の首脳大の直接交渉を断念したことに触れ、自ら半分引退した身。完全引退を探っている」と語っていた。

ダライ・ラマは福岡県仏教連合会の招きで9日、日本を訪問した。東京や北九州市で講演し、11月7日午後日本に滞在する。

中国側代表は「数年で解決できる問題ではない」とし、協議が長期間にわたる考えを示していた。ダライ・ラマ自身の健康問題が押し、チベット独立を求める急進派のチベット青年会議代表が台頭する恐れもあることから、中国筋は「対話のバネを残してわが方が中国政府にとって得策だ」とする。

# 食品

# 中国に注文

## ASEM開幕

### 「安全確保を」各国訴え

アジアと欧州の信頼を年々下へ、対峙する東アジアと欧州会合(ASEM)最高レベルが25日、開幕した。米商務省の商務大臣の呼びかけで各国が手をそろえたのは、対外的に、主権の中国が掲げている安全への懸念を、対内的には、各国が食料の不安を相次いで「北東アジア問題」を懸念している。

この日午前、全体会でも「食料の安全確保に取組まないといけない」との指摘が多数のアジアの国から出た。厳格な基準を持つ欧州に協力を求める声もあったという。

人口13億の大國として、乳牛人が死に、除染を受けた食品が安全問題、重要は「安全」確保。乳牛は輸入を禁止した。豚も同じ。牛肉は輸出された。豚も同じ。牛肉は輸出された。豚も同じ。牛肉は輸出された。

この日午後、ASEMの最高レベルの会合が開幕した。ASEMの最高レベルの会合が開幕した。ASEMの最高レベルの会合が開幕した。

ASEMの最高レベルの会合が開幕した。ASEMの最高レベルの会合が開幕した。ASEMの最高レベルの会合が開幕した。

ASEMの最高レベルの会合が開幕した。ASEMの最高レベルの会合が開幕した。ASEMの最高レベルの会合が開幕した。

# 人権

## 欧州圧力 声明に文言

ASEMの最高レベルの会合が開幕した。ASEMの最高レベルの会合が開幕した。ASEMの最高レベルの会合が開幕した。

ASEMの最高レベルの会合が開幕した。ASEMの最高レベルの会合が開幕した。ASEMの最高レベルの会合が開幕した。



中国の温家宝首相(前列左)の演説を聞くサルゴジ大統領(前列右)らASEM

ASEMの最高レベルの会合が開幕した。ASEMの最高レベルの会合が開幕した。ASEMの最高レベルの会合が開幕した。

ASEMの最高レベルの会合が開幕した。ASEMの最高レベルの会合が開幕した。ASEMの最高レベルの会合が開幕した。

# チベットの現状知って

京都府左京区の本山修験宗本山聖  
徳院門跡（宮城泰年門主）で二十一  
日、世界が北京五輪で沸きかえる中  
一九九四年に十四回でチベットからイ  
ンドに命じたチベット僧ダバ・ギ  
ャルツェン氏の講演が開かれ、信徒  
や市民が五十人が講演に耳を傾け  
た。ギャルツェン氏は宮城門主との齟  
齬の形式で講演、亡命の体験を語  
るでも「チベットは今も年輪。チ  
ベットの現状を知ってほしい」と訴え  
た。

## 亡命僧、過酷な逃亡体験語る

総本山聖徳院



千数百人に及んだ亡命ルートを紹介するギャルツェン氏

### 自由奪われ難民続出

チベットは一九四九年 自治を条件に併呑。その  
の中国の成立とともに、後、自治を否定した中国  
中国軍の侵攻が始まり、政府の政策に反対するチ  
ベットの民衆がゲリラ闘争  
五年にはチベット人の  
教の聖地、ムルツィンカ  
教を二斉砲撃するなど  
に命じたチベット僧  
イ・ラム・四世はインド  
に命じ、ダラムサラに  
亡命政府を樹立した。タ  
ライ・ラマとともにイン  
ドに亡命した難民は十  
人を超えたという。

中国軍の侵襲による略奪や暴行、虐殺などによ  
るチベット人死者は百二  
十万人にのぼったといわ  
れ、破壊されたチベット  
仏教寺院も七カ寺に及  
んだ。中国軍の移住政  
策によって現在、七百五  
十万人の漢民族がチベッ  
トに移住、三十万人の中  
国軍が駐留しているとい  
う。チベット人と漢民族  
の間には教育や医療、職  
業などさまざまな差別が  
あるほか、独立要求デモ  
タラムサラに送られた。

による逮捕者は数千人に  
のぼり、劣悪な監獄、非  
人道的な拷問など過酷な  
人権侵害を受け、自由を  
奪われているのが現状  
で、難民は世界各地に増  
え続けているという。

同氏は「子ども心にも  
チベットが差別され、  
宗教の自由も平等、人権  
もない現状が一刻も早く  
く逃れたい、自由の國に  
行きたい」との一心で家  
族にも告げず、身の食料  
も持たず、着の身帯のま  
まで単身、中国軍の監視  
を避けて故郷ニヤロンを  
離れたという。約八百、  
一カ月間、ラサレに滞在  
後、物乞いしながら約  
二千人ほどの亡命  
インド人の案内人を見つ  
けて、二千人ほどの亡命  
者とともにヒマラヤ山脈  
を越え、ネパールのカト  
マンズを経て、インドの  
タラムサラに送られた。

が設置している学校に入  
り、僧侶になったとい  
う。現在、インド知遇  
を得たマ・ギャルツェ  
ンの招きで、三年前が日  
本に滞り、東京都慶の  
チベット文化研究所でチ  
ベット仏教の講座を担当  
している。

同氏は「当時はチベッ  
ト全体が激怒した。逃  
れに中では死の恐怖より、中  
国軍に見つかるとの方  
が恐怖だった」と振り返  
るとともに、「自分か  
一人、自由になりたいとい  
う思いだったが、インド  
でさまざまな人と出会  
い、考えの狭さを思い知  
らされた。今は一人の僧  
侶としてチベットのた  
め、東洋へ入る、世界平  
和のために戻りたい、  
世界の人人はチベットの  
現状を知ってほしい」と訴えた。

## メンバー拘束、教会封鎖

ワシントン＝山本秀也 中国の人権改善を公約し開かれた北京五輪について、米國務省は19日発表した宗教の自由に関する年次報告書(2008年版)で、五輪開催期間を中国での宗教状況が逆に悪化したことを不満足結果をまとめた。対中関係重要視して、ブッシュ大統領の五輪出席をあえて実現した米政府だが、信仰の権利を含む人権改善の期待は裏切られたかたちだ。

### 米國務省報告書

昨年末の中国の宗教状況について、報告書は「宗教の自由に対する政府の対応は依然対相変わらずであり、チベット、新疆ウイグル自治区、北京などの地域では規制が強化された」との総括的な判断を打ち出した。「五輪開催の成功」を口実にした活動規制や信者への拘束が事例の主内容だ。漢民族が多数を占める中国本土では、非公認のキリスト教会(いわゆる「家庭教会」)や、国内で非合法化されている気功集団「法輪功」が、主な弾圧対象となったとしている。家庭教会については、中国当局の命令により「一定期間中の活動停止」を文書で強制させられたケースや、ローマ法王の支配

## 北京五輪 宗教弾圧に拍車

を拒んでカトリック信者に加えられる弾圧が指摘された。

報告書は、海外の法輪功組織が指摘する五輪期間中のメンバー拘束や獄中死亡などを挙げる一方、「中国政府が外国のメディアや政府当局者によるメンバーとの接触を妨害するのを、確認できない」とした。

3月に騒動事件が起きたチベットに関して、報告書は「愛国主義教育」として「チベット非難する文書への署名が、僧侶らに要求された」としている。また、昨年3月には「チベット自治民の比率が高い青海省で、外ライラムの写真を陰みつけるよう高僧に迫る「踏み絵」が行われた」とも報告に盛り込まれた。

このほか、分離・独立運動を抱える新疆ウイグル自治区でも、イスラム教徒への嫌がらせや弾圧が続く一方、地元住民が中国支配に抗議する街頭行動に訴えたケースなどが報告された。月14日、20・9・21



### ダライラマは平和の人

「ニューデリー」秋田和男  
ブッシュ米大統領がインドのシン首相とホワイトハウスで、今月25日に会談した際、チベット仏教最高指導者ダライラマ14世の神像を巡り中国の胡錦濤国家主席と交わした「激論」を披露していたことがわかった。

29日付「インディアン・エクスプレス」紙が会談内容に、通じた電話の話をと報じたもので、大統領は8月の北京五輪開会式出席時に胡主席に会った際の様子をシン首相に紹介。大統領が「ダライラマは平和の人であり、もっと溫和に対応してはどうか」と述べた。

### 米中首脳が激論

と述べた。主席から「ダライラマの抱いたチベット獨立にある」と猛反論を受けたという。

「現中国指導部が対決に傾くとは思わないが、次の世代はわからない」との言葉を引用し、中国の動向を監視して必ず必要があるとの認識で大統領と一致したという。

### 彼の狙いはチベット獨立





『立正安国論』の十徳

第一、『立正安国論』は

日蓮聖人が時の「骸骨路に充てり」という社会の惨状を心より悲しみ憂えられた「悲感の書」である。

第二、『立正安国論』は

日蓮聖人が「法華経」に仕える仏弟子として、そのつとめを果たそうとした「信仰の書」である。

第三、『立正安国論』は

日蓮聖人が「立正」（実乗の一善）の「大慈悲」をもって仏国土の実現（「安国」）をめざした「使命の書」である。

第四、『立正安国論』は

日蓮聖人が時の為政者が心を改め、真に人々の救済に生きることを訴えた「諫言の書」である。

第五、『立正安国論』は

日蓮聖人が「当時の人々が「立正」（仏の大慈悲）をいただき、ともに「慈悲の一分」（受持唱題）に生きることを願った「救済の書」である。

第六、『立正安国論』は

日蓮聖人が「仏身を成就」する精進を閉ざしている当時の「仏法の衰微」（謗法）をみて、その根本の改革をめざした「衰惜の書」である。

第七、『立正安国論』は

日蓮聖人が「此土」の惨状をただ嘆くのではなく「みなとともに」此土の清浄をめざして立ち上ることを叫んだ「変革の書」である。

第八、『立正安国論』は

日蓮聖人が「予言」という形で国の将来を憂え、為政者にその姿勢を直すことを訴えた「国諫の書」である。

第九、『立正安国論』は

日蓮聖人が「弟子一仏の子」として「法華経」にすべてを捧げて行動している「証明の書」である。

第十、『立正安国論』は

日蓮聖人が「毎自作是念」の仏の誓願に生きることを、身をもってしめされた「誓願の書」である。

## 携帯説法

# チベット問題「モーコリタ」での発言

003 4月21日

「写真」

「大好きな恋人の写真を持ってちゃいけない。牢獄に入れる」といわれたらどうする?? 中国政府はチベットの人たちにダライ・ラマの写真を持ってちゃダメ、飾るのもイカン、持ってたら罰するといってるんだよね。ダライ・ラマは「悪魔」だから、そんな人物の写真飾るなんてとんでもない。というんだよね…。それって「まとも」かな…。あなたは どう思う?? (地涌塾・星)

005 5月7日

中国の胡錦濤主席が来日したけど、福田首相にチベット問題について四点、主席にぜひ直接「事実」を尋ねてほしいね。第一はダライ・ラマを今でも「悪魔」と思っているか。第二はチベット暴動の黒幕はダライ・ラマだと今でも思っているか。第三は中国政府当局者が第一声で「これは人民戦争だ」と言ったそうだが同感か。第四は殺害されたのは 200 人以上とダライ・ラマ側は発表しているがどうか。ぜひ聞いて欲しい。(地涌塾・星)

009 5月29日

「大地震」

中国四川省の大地震は大変な被害だね。実は鎌倉時代にも大地震があって、牛や馬は倒れ死人や骸骨が町中にあふれる悲惨な状況だったんだ。被災者でもある日蓮さんは深く悲しみ、そして時の軍事政権の実力者に「まず民を救うという心が一番大切だ」と命がけで諫めたんだ(立正安国論)。だって軍政だから実力者が気に入らなければ逮捕されて斬られるかも知れないんだよ。だけど日蓮さんは恐れず命がけで諫めたんだ。(地涌塾・星)

010 6月2日

「武の政治」

政治には「武の政治」と「和の政治」があると思うんだ。「和の政治」というのは、トップのことを「変なおじさん」と言っても牢屋に入れられない政治。逆に牢屋に入れられちゃうのが「武の政治」で、反対を許さない政治だね。今、北朝鮮のキムジョンイルを北朝鮮の人々が批判したら間違いなく監獄入りだし、中国の胡錦濤主席を中国人が批判したら間違いなく牢屋に入れられるね。両国とも根本的な大きな課題だね。(地涌塾・星)

020 7月7日

「サミット」

今日7日から9日迄、洞爺湖サミットが開催されるね。平和（核）、環境、食料、エネルギーなどれをとっても大変な問題だけど「人権」問題も世界共通の大きなテーマだね。日本は「拉致」の問題があるし。一つだけいいたいのは主要国の中国は3月のチベット騒乱以来、「僧院」でダライ・ラマ14世を「悪魔」として批判の「再教育」を強要しているというんだ。「やめて対話すべき」と胡錦濤主席にあってほしいね。（地涌塾・星）

027 7月31日「国土」

私たちは日本に住んでいることを「あたりまえのこと」、当然のこととして、何とも思っていないよね。でも国土があるって、人間のおおもとで、もっとも大事なことだって、「チベット問題」でハッと気づかされたね。10万人以上のチベット人が、祖国を離れて、インドの「ドラムサラ」で生活している事実は重い事実だね。祖国を離れるって、よくよくの事じゃない。日蓮聖人は「国土の恩恵」というているけどね。（地涌塾・星）

034 8月25日

「明暗」

北京五輪も、過去のオリンピックと同じように、色んなドラマを生んでいるね。共産党一党独裁の大国「中国」の今後もしんな意味で注目していきたいけど、メダルを獲得した選手も、負けた選手もいろんな意味で注目されるね。どういう気持ちで幕を閉じ、どういう気持ちで新しい一歩を進めるかだけど、私は「大相撲」の言葉を思い出したね。やっぱり「勝っておごらず、負けてくさらず」の気持ちが大切じゃないかね（地涌塾・星）

040 9月15日

「民族共生」

北京五輪を振り返ると、「開会式」の演出が「過剰演出」といわれ、次々と真相が明らかになったね。私が一番気になったのは、56人の子供達が中国国旗とともに各民族衣装を着て入場するシーンがあったけど、アレ56民族のそれぞれの子供の代表じゃなくて、ほとんど漢民族の子供達だったというんだ。「中国のパフォーマンスではよくあることだ」と責任者の発言が報道されたけど、「民族共生」が「演出」では問題だね（地涌塾・星）

## ●チベットの概要

面 積：250万km<sup>2</sup>

首 都：ラサ

人 口：チベット人人口推定600万人  
(中国占領下にあるため正確な数値は不明)

宗 教：仏教、ボン教、イスラム教

言 語：チベット語(ただし中国占領下での公用語は中国語)

主な環境問題：過剰な森林伐採、大型野生動物の密猟

平均標高：4,267m

最高峰：チョモランマ 8,848m

平均気温：7月：14℃、1月：-4℃

主要河川：メコン川、ヤンツェ川、サルウィン川、  
ツァンポ川(ブラフマプートラ川)、黄河、インダス川

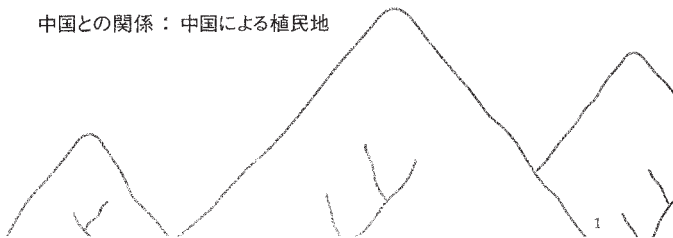
経 済：チベット人：大多数が農業・牧畜  
中 国 人：大多数が役人、商業、サービス業

行政区分：ウ・ツァン、アムド、カム

隣 接 国：インド、ネパール、ミャンマー、中国、ブータン

首 長：ダライ・ラマ法王

中国との関係：中国による植民地



### 中国によるチベット侵略の概要

- 120万人以上のチベット人が殺害された。
- 6,000以上の寺院が破壊された。
- 基本的人権を行使したにすぎない数千人のチベット人が、現在も投獄され続けている。
- チベットの天然資源や、貴重な生態系は、すでに回復不可能なまでに破壊されている。
- チベットが核廃棄物の廃棄場所になっていることを示す複数の証拠がある。
- チベット地域では、チベット人(600万人)の人口よりも、中国人移住者(750万人)の人口のほうが多い。
- かつてインド・中国間の緩衝地帯として機能していたチベットの国は、現在、中国によって広大な軍事基地へと作りかえられつつある。

## 支援へのアピール

- 雑誌や新聞に投稿することによって、チベット人の独立の権利に対する支持を表明する。
- チベットについて国会議員に手紙を書き、議会でチベット問題を取り上げるよう求める。
- 国会議員および政府に対して、チベットに関するダライ・ラマ法王の平和的イニシアティブへの支持を求める。
- チベットに関する国の方針を見直すように政府に要請する。
- 国連でのチベットに関する決議を支持するように政府に要請する。
- 国会議員および政府に対して、ダライ・ラマ法王を最高指導者とするチベット亡命政府を認めるよう求める。
- 地域でチベット支援グループを組織し、その地域の人々にチベットおよびチベット人が置かれた現況について知らせる。

### 「チベットとダライ・ラマ法王」

(ダライ・ラマ日本代表部事務所発行誌より)

「お会式」のご案内

お会式（おえしき）とは、日蓮聖人のご入滅をしのんでおこなう、日蓮宗にとってもっとも大切な行事のことです。

本応寺では今年も例年の通り、来る十一月三日（文化の日）におこないます。私たち日蓮宗の宗祖、日蓮聖人のご命日の法要に、檀信徒のみならずお誘いあわせのうえに参詣下さいますよう、ご案内申し上げます。

平成二十年十月一日

川越市石原町一―四―十

長久山 本 心 土 寺

訂記

一、日時 十一月三日（月）

二、内容 十二時 集合 昼食（参拝章を受付にお出し下さい。

お礼、お供物を受取り、書院で

お赤飯を召し上がって下さい。

ご家族みなさんでどうぞ（

一時 奉納落語

三遊亭 袖樂師匠

昭和四十五年 青森県生まれ

平成四年 立正大学卒業

平成九年 三遊亭山樂（五代目）に入門

平成十九年 真打昇進

二時 法 要

日蓮聖人御入滅

第七百二十七遠忌御法要

『手づくりチベット展』(午前十一時〜午後五時迄)

\*当日「チベット」の仏教・文化・歴史・受難の事実等を広く知ってもらう為の『手づくりチベット展』を当山に於て開催しております。こちら是非ご覧ください。いますよう、ご案内申し上げます。

チベットの事実をみつめて(星)

# 『落語』と『手づくりチベット展』

1. 開催日 平成20年11月3日(月)文化の日

2. 会場 「本応寺」(本堂) 下記図参照

**\* 入場無料** どなたでも御自由に入場できます。

3. 日程

午前10時開場～午後1時迄

## 『手づくりチベット展』

チベットの仏教・文化・歴史・受難の事実を広く知ってもらう為の『手づくりチベット展』を開催します。

午後1時～1時40分迄

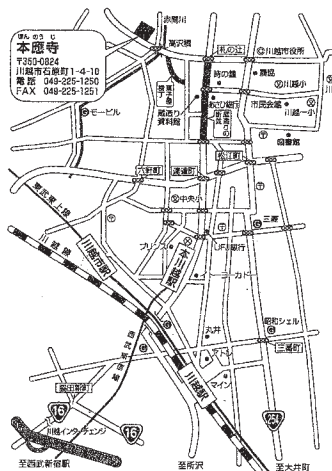
## 『落語』

じらく

三遊亭 神楽師匠…昭和45年生まれ

平成9年 三遊亭円樂(5代目)に入門

平成19年 真打ち昇進



主催 本応寺

ほんのうじ  
**本応寺**

〒350-0824

川越市石原町1-4-10

電話 049-225-1250

FAX 049-225-1251

本川越駅、川越市駅より徒歩約15分  
川越駅東口よりバスで約10分(神明町行き乗車、札の辻下車、徒歩約5分)

## 〔「写真」並びに「子どもたちの絵」〕

野田雅也 (のだまさや)

### ■プロフィール

1974年福岡県生まれ、フォトジャーナリスト。世界放浪中にチベットに出会い、人びとの祈りの姿に魅了される。以来、長期にわたってチベットを訪れている。今年3月にはチベット亡命政府のあるインド・ダラムサラから現地レポートを続けた。そのほか、05年には津波被害直後のインドネシア・アチェ州にて、独立闘争などを取材。中国残留婦人の取材なども続ける。2004年から日本ビジュアル・ジャーナリスト協会 (JVJA) 事務局を務める。

森幹代 (もりみきよ)

### ■プロフィール

1970年 群馬生まれ

2001年に初めてチベット文化圏である北インドのラダック、チベット亡命政府のおかれるダラムサラを訪れる。

そこで、チベットの過酷な歴史と現状を知り、

2003年に初めてチベット自治区を訪ね各地を周る。

壮大な自然と素晴らしい文化を持つチベットの人々に

魅せられ、2005年に青海省、四川省のチベット文化圏を周り競馬祭、チベット寺院の法会などを撮影。



## 子どもたちの絵について

ここに飾られている子どもたちの絵は、今年になってチベット本土からダラムサラに亡命した難民の子どもたちの絵です。ヒマラヤを越えてここダラムサラまで過酷な旅をして来た子どもたち。彼らのほとんどはこれまで絵筆を持ったことのない子どもたちです。

ダラムサラに落ち着いた子どもたちには、ご自身が20数年の獄中体験をもつアマーデ女史をはじめ多くのスタッフが母親代わりとなって愛情を注いでいます。彼らの絵の多くは、中国兵の拷問や弾圧を象徴するものになっています。これらは亡命の途中で拘束された経験のある子どもが描いた場合もありますが、まだ幼い彼らが伝聞した悲惨なチベットの状況の反映だとしてご理解いただきたいと思います。

子どもたちに絵を描く機会を与えてくれているのは、英国の難民支援NGOのART REFUGE UKという組織で、今回の展示もルンタ・プロジェクト（日本人による難民自立支援NGO）との親密な連携の上で実現いたしました。

展示されている絵はダラムサラで展示されたオリジナル作品とデータで送られて来たものをプリントアウトした作品です。

### ○タンカとは？

---

#### ■タンカとは

タンカ（Thangka）は、チベット文化圏（中国チベット自治区、ネパール、ブータン、モンゴル、北インド方面）で作られる布に描かれた宗教画です。チベットでは「タングウー」と呼ばれていたようです。

西チベットでは、ふつう白亜と動物の膠によって地塗りされた綿織物に描かれ、掛け軸のように表装されて飾られます。顔料は伝統的な鉱物からのものと、染料から作られたものを使われました。

タンカは、インドからチベットへ伝播した仏教がその地に根付き、チベット文化圏で発達した独特の宗教画です。

#### 観音菩薩（チェンレースイ）

自らは悟りに至ったものの、他の命あるものたちが悟りに到るのを手助けするために、あえて輪廻の輪の中にとどまる存在が「菩薩」である。観音菩薩は、すべての命あるものを慈悲の力で手助けする「慈悲の菩薩」。ダライ・ラマ法王は観音菩薩の化身とされている。

手が4本なのは四臂観音。千手千眼観音は11の顔と千の手、掌に千の眼をもつ。あらゆる方向を見渡して手をさしのべるため。頭の頂上には阿弥陀如来を戴いている。

# 「手づくりチベット展」

## 〔出 展 目 録〕

- |                          |               |
|--------------------------|---------------|
| (1) チベット「国旗」             | 1点            |
| (2) 「タンカ」(宗教画)           | 1点            |
| (3) チベット「古地図」            | 1点            |
| (4) 「パネル写真」(歴史、風俗、信仰、受難) | 20点           |
|                          | A3 7 版 (詳細別紙) |
| (5) 「パネル絵画」(ダラムサラの子供達の絵) | 20点           |
|                          | (詳細別紙)        |
| (6) 「チベット関係DVD」          | 4点            |

### 〔DVD作品紹介〕

#### 1 『ヒマラヤを越える子供たち』(29分)

ドイツの女性監督: Maria Blumencron の作品。実際の亡命者に同行し、その姿をとらえたドキュメンタリー・フィルム。雪のヒマラヤを越えて過酷な旅をする5人の子どもを含む亡命者たちと、命がけで彼らを導くガイドの姿を描き欧州で高い評価を得た作品です。絵を描いた子どもたちもこのような旅をして来たのです。

#### 2 『チベット 2002』(68分)

岩佐寿弥監督作品。前半は中国共産党が1949年に中国本土を掌握した後、51年のチベット侵攻とその後の支配の歴史をまとめたチベット受難の歴史の貴重な映像記録です。後半はダライ・ラマ法王へのインタビュー映像が中心。岩佐監督ならではのユニークな質問に目を輝かせて答える法王の姿が印象的です。チベット現代史の実相と法王の素顔を知る上で必見の映画と言えるでしょう。

#### 3 『チベット チベット』(95分)

キム・スンヨン監督作品。チベット、ダラムサラを巡る瑞々しいドキュメンタリー映画。若き監督が自分探しの放浪の旅のさなか、チベットの懐に抱かれるようにしながらカメラを回します。中国チベット自治区のラサでは漢民族の移住によって無惨に都市化された市街と無邪気なチベット人の子供との交流の映像を織り交ぜてチベットの苦しみを垣間見せてくれます。ダライ・ラマ法王との10日間の同行取材も収録されています。

#### 4 『T I P A』(105分)

ダライ・ラマ法王はインドへ亡命後、チベット独自の文化の保存の為、伝統舞台芸術団「T I P A」を設立しました。「ラモ」と呼ばれるチベットオペラを保存・継承するT I P Aは、ステージアートの教育機関でもあり、世界公演を行う傍らで、次世代の若者達に祖国の歌と楽器演奏、舞踏

## 〔参考資料・出版物〕

### (1) ダライ・ラマ著

- 1、「ダライ・ラマ自伝」文藝春秋 2,200 円（波乱の半生を語る。ダライ・ラマを知る入門書）
- 2、「ダライ・ラマ自伝」文春文庫 629 円＋税（上記本の文庫版）
- 3、「愛と非暴力」春秋社 1,500 円＋税（ノーベル平和賞受賞スピーチと受賞記念講演）
- 4、「ダライ・ラマ瞑想入門」春秋社 2,500 円＋税（ダライ・ラマ法王自らが説いた説法）
- 5、「未来への希望」大蔵出版 1,900 円＋税（2007 年来日講演集）
- 6、「ヒューマン・パリュール」四季社 1,280 円＋税（仏教の「縁起の智慧」をやさしく説く）

### (2) チベット関連出版物

- 1、「チベット史」ロラン・デュエ著 春秋社 5,000 円＋税  
（参考資料・文献が充実）
- 2、「目覚めよ仏教」上田紀行著 NHKブックス 1,070 円＋税  
（著者によるダライ・ラマ法王との対話集）
- 3、「受難と祈り！、チベット証言集」高橋明美編 ルンタ・プロジェクト 1,500 円  
（チベット人の証言集）
- 4、「チベット半世紀の苦難」ダライ・ラマ法王日本代表部事務所  
（3月10日「チベット蜂起記念日」特集）
- 5、「チベットとダライ・ラマ法王」ダライ・ラマ法王日本代表部事務所  
（チベットの歴史が分かる小冊子）
- 6、「中国が隠し続けるチベットの真実」ペマ・ギャルポ 扶桑社新書 720 円＋税  
（「チベット問題」とは何なのか？中共のチベット侵攻の経緯と真実）
- 7、「チベット大虐殺の真実」西村幸祐責任編集 オークラ出版 1,000 円  
（ジャーナリスト、評論家、識者から、チベット問題の全てを伝える）
- 8、「図説 チベット歴史紀行」石濱裕美子著・永橋和雄・写真 河出書房新社 1,800 円＋税  
（チベットの宮殿や遺跡、聖地を写真とコラムで辿る）
- 9、「バター茶をどうぞ」渡辺一枝著 文英堂 2,000 円＋税  
（チベットの人・文化・歴史を紹介したフォトエッセイ）
- 10、「中国 56 民族手帖」松岡格（文）・ワカバマコ（行社） マガジンハウス 1,200 円＋税  
（中国にいる 56 の民族の説明と衣装を行社で紹介）

## 「手づくりチベット展」

# 開 催 申 込 書

「地涌塾」殿

下記要項にて「手づくりチベット展」を開催いたしたく、展示品、借用送付の件宜しく  
お願い致します。

平成 年 月 日

### 記

#### 1. 開催日時

ご利用期間：\_\_\_\_\_

【平成 年 月 日（ ） 時～平成 年 月 日（ ） 時迄】

#### 2. 開催場所

会場名：\_\_\_\_\_

住 所：〒\_\_\_\_\_

電 話：\_\_\_\_\_

#### 3. 展示品送付場所 \*送付先が上記住所と異なる場合はご記入ください。

住 所：〒\_\_\_\_\_

氏 名：\_\_\_\_\_ 電 話：\_\_\_\_\_

#### 4. 諸経費

(1)展示品郵送代（宅急便）【送付代金（着払い）、返却代金（主催者払）】

(2)開催支援賛助金 「寸志」（グライ・マ日本代表部事務所に納めます）

#### 5. 開催責任者

住 所：〒\_\_\_\_\_

寺院名：\_\_\_\_\_ 氏名：\_\_\_\_\_ 印

電 話：\_\_\_\_\_ F A X : \_\_\_\_\_

# TIBET

## おしえて

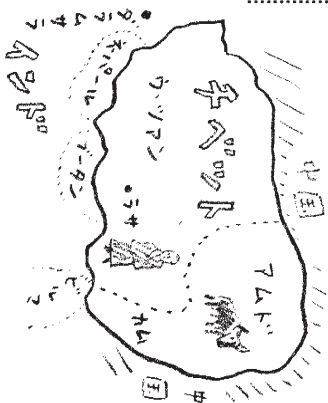


### チベットは...

もともとひとつの独立した国でした。世界の屋根と呼ばれる、富士山より高い場所であり、美しい自然のなかに、ナンダやキンコラといった珍しい動物が、たくさんすんでいました。これら豊かな自然があるのは、チベットの人々が、自然を尊敬し、あらゆる生き物の命を大切に、宗教の教えを守り、生活のなかで、自然や野生の動物とよい関係を作ってきたからです。

### ところか...

1949年に中国から兵隊が攻めてきて、チベットの土地を勝手に自分たちのものにしてしまいました。ダライ・ラマ 14 世とチベットの人々は、話し合いで解決しようとしたが、たくさんチベット人が捕まえられるたり、殺されたりしたため、インドへ逃れました。



現在のチベットは、中国に支配され、5つの地域に分けられています。チベット自治区と呼ばれる地域は、本来のチベットの半分以下の広さしかありません。

### ダライ・ラマ 14 世は誰?

J. Tostaki



ダライ・ラマ 14 世は、現在のチベットの指導者です。インドのダラムサラに亡命政府をつくり、チベットの問題に取り組んでいます。チベットの人々が信仰しているチベット仏教では、「ダライ・ラマは何度も、この世に生まれ変わって、人々を教へにくる」とされています。チベットの人々は、ダライ・ラマを尊敬し、愛し、信じています。

### チベットの原真性

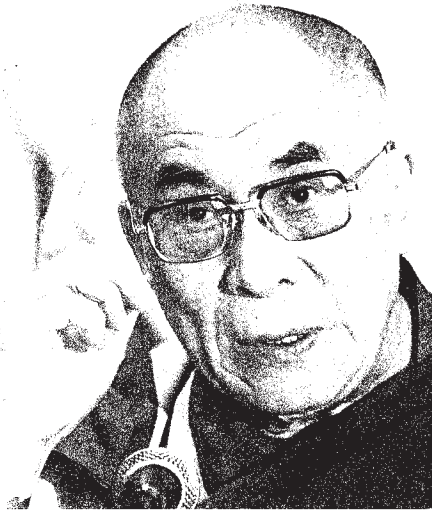
チベットの人々は、仏教を大切にすることも、国旗を持つことも、チベット語を使うことも、中国に禁止されています。チベットの人々が、今一番望んでいることは、自分たちの言葉で、自由に発言し、自由に振る舞い、平和に暮らすという当たり前のことです。仏教を大切に、自然とともに生きる暮らしがしたいだけなのです。

### FREE TIBET! (フリーチベット)

は、そんなチベットの人々に当たり前の自由をという言葉です。どうぞ唱えてみてください。誰かと話してみてください。チベットのことを知ってください。——聖賢と祈り——チベットを知るための画、2008

「賛同員」配布資料(地涌塾) 平成二十年四月二十八日 第一号

# テーマ「チベット問題」とダライ・ラマ



10日午後、成田市内のホテルで記者会見するダライ・ラマ14世 (鈴木健児撮影)

チベット仏教の最高指導者、ダライ・ラマ14世は10日、米国防務省の飛行機乗り継ぎで日本に立ち寄り、千葉県成田市内のホテルで記者会見し、「暴力による弾圧ではなく現実的なアプローチが必要だ」と、中国チベット自治区などで頻る騒ぎを力で押さえ込んだ中国に對話の必要性を改めて訴えた。(2面に「主張」、3、5、6、7、22面に関連記事)

## ダライ・ラマ会見

### 「現実受け入れる時」中国に對話促す

3月中旬のチベット騒乱でチベット民族の固有の宗教以降、ダライ・ラマが亡く、や文化、教育などが抑圧された命先のインド以外で、昇解されているため、「チベットを明らかにするのは初め」民族の憤りが表出した」と指摘。「いまこそ現実を受け入れるべきときだ」と

とは自由だが、暴力は絶対に振るってはならない」とのメッセージを送ったことを明かした。ただし、抗議行動の原因については理解を示し、「人権である表現の自由が中国のチベット民族には許されていないためだ」と述べた。8月の北京五輪については、「中国は人口も多く、歴史を長く、五輪を開催するだけの十分な力のある国だと、改めて開催に支持を表明した。一方で「透明性のある情報を提供すべき」とし、国際機関に調査を依頼するなど騒乱の真実を公表するよう要求した。

暴力によって確保されるべきではない」として非暴力主義の重要性を力説。9日に聖火リレーが行われたサンフランシスコのチベットについて、「気持ちを表現する」★

産経新聞 H 20・4・11号

## チベット騒乱

## 問題の根を解説して

### 池上彰の 新聞なまめ読み



チベットで発生した騒乱は、中国政府が報道管制を敷いているため、詳しいことがわかりません。歯がゆい思いが続きます。

こんなとき、新聞は何をしたらいいのでしょうか。もちろん現地でも何が起こったのか、いま何が進行しているのか、事実取材に尽力するのは当然のことです。しかし、その間、面作りをしてほしいのです。それは、そもそも「チベット問題」とは何か、という素材

な読者の疑問に答えることで

朝日新聞は、3月18日、チベット騒乱を伝える記事の中で「チベット問題」を次のように解説しています。

「かつて英国の影響下にあったが、49年の新中国成立後、51年に中国軍が中心都市ラサに進駐した。59年には動乱を軍が鎮圧し、チベット仏教の最高指導者ダライ・ラマ14世がインドに脱出、ダラムサラに亡命政府をつくった」

これ以降も、断片的な説明はありますが、「チベット問題」に関する包括的な解説記事が、3月27日現在、見当たっていません。読者として大いに不満です。せめて、次のような説明がほしいのです。

「中国の清朝の時代、チベットは清とイギリスの双方の影響下にありました。清朝が崩壊すると、ダライ・ラマ13世（先代）はチベット独立を宣

言しましたが、国際社会の承認は得られませんでした。

清の次の中華民国はチベットを自国の領土だと宣言します。1914年、チベット政府はイギリスの仲介で中華民国政府との条約に調印し、中華民国のチベットに対する主権と共にチベットの自治が認められました。

ところが中華民国政府が条約を批准しなかったことから、チベット政府は中華民国の主権を認めないと宣言。チベットが主権国家であることを改めて宣言したのですが、やはり国際社会の承認が得られませんでした。

1950年、新中国政府は「チベットを解放する」と宣言。多数の軍をチベットに送り込みます。チベット政府は「中国の侵略」だと抗議しますが、朝鮮戦争中のごとく、国際社会の注目も朝鮮半島に集まり、チベット政府の訴え

は無視されました。

チベット仏教では、ダライ・ラマは観音菩薩の化身とされています。悟りを開き、この世に戻ってこそ、本当にのちに、人々の救済のため、あえて生まれ変わってくる存在です。だからチベットの人たちの敬愛を受けるのです。」

せめて、これくらいの解説がほしいのです。

（ジャーナリスト）

◆東京本社発行の最終版を基にしています。

東京でも、中国政府に抗議するデモ行進が



朝日新聞  
H 20・3・31号



チベット問題ってなに？

1951年からの中国支配に再三反発

チベットをめぐる主な動き	
1940年	チベット仏教の最高指導者ダライ・ラマ14世が即位
49年	中華人民共和国成立
51年	人民解放軍、ラサに進駐
56年	自治区準備委員会発足
59年	中国の統治に抗議する動乱発生 中国が武力鎮圧、ダライ・ラマ14世はインドに亡命
65年	チベット自治区成立
89年	ラサで「独立要求」などを掲げたデモが激化 中国当局は戒厳令施行(90年に解除) ダライ・ラマ14世がノーベル平和賞受賞
2008年	ラサなどで僧侶や市民らの抗議行動が再び激化



ダライ・ラマ14世(写真はAP)



(写真はロイター)

コラケ郎 北京五輪の聖火の採火式で、一騒動あったらしいね。  
A NGOのメンバーがある。もともとチベットは清朝の支配下にあったが、後に英国の影響が大きくなった。新中国の建国後の1951年、中国はチベットを自らの領土として軍を進駐させた。

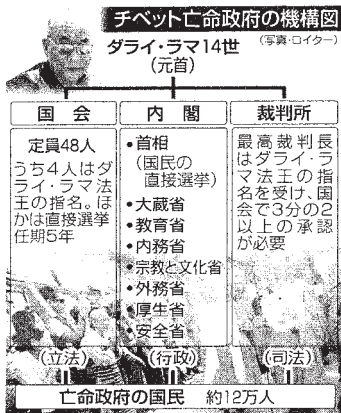
コ なぜチベットで騒乱が起きたの？  
A この問題には歴史が長い。チベット人は大規模な抗議運動に発展したんだ。今回が初めてじゃなかったんだ。

コ 今回の抗議行動は、中国はチベット自治区を成立させたんだ。その後は静かになったの？  
A 自治区といっても中央政府の統制下に置かれ、真の自治権があるとは言い難い。漢族の支配も相まって89年、再び独立要求デモが広がった。

コ 当時の動乱は武力で鎮圧され、チベット仏教の最高指導者ダライ・ラマ14世(7)はインドに亡命した。その6年後だが、当局は戒厳令を敷いて鎮圧。当時、自治区のトップとして指揮をとったのが今の胡錦濤国家主席だ。その後も漢族の移住が続くが、自治区人口の77万人のうちチベット族が9割を占める。  
コ 亡命したダライ・ラマ14世の動きは？  
A インドで亡命政府を組織。非暴力を掲げて国際社会にも訴え、89年

にはノーベル平和賞を受賞した。中国に対してチベットの独立は求めず、外交、防衛を除いた自治を表現したいと主張しているが中国の姿勢は硬い。  
コ チベット人にとってのダライ・ラマ14世の存在って？  
A チベット仏教最高の活仏(生き仏)で、仏教を熱烈に信仰するチベット人にとっては精神的な指導者であり、政治的な指導者でもあるんだ。  
コ ということは、騒乱にはダライ・ラマ14世もかかわっているの？  
A 中国はそう主張しているが、ダライ・ラマ側は否定し、「チベット人にも改めて「非暴力」を呼びかけている。  
コ じゃあ今回の騒乱が起きるのはなぜ？  
A そのあたりは国際面で詳しく説明することにする。(員瀬秋彦)





1959年のチベット動乱で、インドに亡命したチベット仏教の最高指導者ダライ・ラマは選出された。その後成立した14世は、ヒマラヤ山脈のふもと憲法で、「チベットは、自由である小さな町・タラムサラに社会福祉を大切にす連邦民主たりの着定住した。その後、主義国家」と規定された。インド各地に分散していたチベット人が集まり、亡命政府がインド国内に散在する約12万人の亡命者を統括、毎年約2000人の上上がった。翌60年に国会が成立し、各宗派の代表ら13人が初代議員として者を受け入れている。

## チベット亡命政府

中国のチベット自治区での騒乱以後、「チベットの自由」を求めて中国と戦い続けているチベット亡命政府が、にわかに注目されている。インド北部にある約50年前の小さな難民キャンプから始まった亡命政府は、今や直接選挙のある二権分立の、民主主義体制へと発展した。同政府はチベット仏教の政治的、宗教的中心としてだけでなく、中国の人権意識を測るものとして、国際社会での存在感を増している。(北京 矢板明夫)

## 「独立」「依存」対中関係の岐路

亡命政府は、元首のダライ・ラマ14世の選出、三権分立を確立。首相公選制と、内閣は大蔵、教育など7省から構成される。国会議員選挙も5年に行われる。司法は、チベット人同士のトリアルは原則的に亡命政府の裁判所で処理されるが、インド人などが絡む場合は、インドの司法機関に委ねられるという。

ダライ・ラマは元首であると同時に、宗教的背景から最も神聖な存在であることに変わりはない。欧州、米国などに住む約3万人と中国国内にいる540万人に及ぶチベット人に対して、依然 大きな影響力を持っている。

インド政府はダライ・ラマらの亡命を受け入れた59年ごろ、中国と国境問題をめぐり対立したが、近年は急接近した。3月の騒乱で、インド政府は国内で抗議行動を行ったチベット人を逮捕するなど中国政府寄りの対策を取った。しかし、亡命政府は今、欧米諸国の世論的支持を得ており、インド政府はこれに配慮し、ダライ・ラマを「尊敬する客人」として接しているの

中国からの完全独立はチベット人の長年の夢だが、平和主義者のダライ・ラマが中国当局に對して求めているのは、チベットの独立ではなく、外交と国防を中国政府に委ねる「高度な自治」だ。

その要求も中国政府から「分

サイバー大学  
Cyber University

帰宅後1時間、同期に差をつける。

入学願書受付中! 4月16日まで

サイバー大学

<http://www.cyber-u.ac.jp/>

離・独立につながる」と厳ざれ、チベット人弾圧は逆に強まった。

近年、亡命政府の中でもダライ・ラマの「弱腰」姿勢を批判する急進派が増えており、今後その流血が続けば、こうした声が一段と高まりそうだ。

独立を求めるのか、出口の見えない「高度な自治」を求め続けるのか、チベット亡命政府は岐路に立たされている。

「僧侶宿舍から押収」【北京1野口東亮】中国公安省の武和平報道官は1日、チベット自治区での騒乱に関して初めて記者会見し、「ダライ・ラマに直接会わなかった幹部を拘束している」とし、僧侶宿舍から銃178丁、弾丸1万3000発、刀359本、ダイナマイト3504kg、信管1万9360個、手榴弾2個を押収したと発表した。

また、①2006年11月にダライ・ラマの幹部と公安省が逮捕した人物が連絡を取り合い、12人の「連絡網」による中国国内の地下情報ネットワークを作った

②暗号でダライ・ラマに「報告せよ」。チベット独立の旗を「スカウト」と呼んでいた③昨年、中国国内の請願をネットを通じて国外に送った④ダライ・ラマの海外での活動を記録したDVDをラサで配布した⑤



福田首相に  
申す

産経新聞 H 20・4・10号

# チベット弾圧抗議せよ

いま、七の国よりもチベット問題で中国に物を言わさへばはわが国である。

日本は、武力よりも、民主主義と国憲法、人間の自由、文化、文明の輝きを以て戦後の道を切り開きたいと望んできた。同時に米国の占領政策によって、日本文明の粋を失う哀しみを味わってきた。だからこそ、ダライ・ラマ14世が「チベット文化の遺産」と呼ぶ中国の弾圧に、率先して抗議しはばいなければならない。日本と多くの価値観を共有し、日本に友好的であった国、チベットのために発言することは、日本が依つて立つ基礎を守ることである。福田康夫首相が望む「善日関係の構築も、日本が発言して初めて可能になる。

しかし、チベット人の抵抗運動について、首相は「中国の内閣問題」とし、「人権にかかわるようなことがあれば心配、懸念を表明させるを得ない」と語るにとどまる。弾圧の中の沈黙は中国共産党の共犯者となるべきだ。

中国のチベット侵略は1950年6月の北朝鮮の韓国侵攻以前から始まっていた。人民解放軍の調査隊がチベット軍の哨戒地があった東チベットのデングに入ったのだ。10月、彼らは東チベットを襲い、わずか1日で占拠した。

翌年5月、中国共産党はチベットに行政協定への署名を強要した。協定は、まず、チベットは祖国(中国)の大家族に復帰することだ、と、事実上、チベットが中国の一部だと明記した。だが、甘言も書き込まれていた。チベット軍は中国人民解放軍に吸収されるが、チベットの仏教、信仰、風俗習慣は尊重され、僧侶も保護されると明記されていたのだ。

亡命を視野に留めていたダライ・ラマ14世は16歳、法王を取り囲む彼たちの行政協定についての意見を分かれた。身ひとつで命を守る、過酷な運命の予兆にたづねる者もいた。そして彼らは若く14世に就いた。「われわれが中共を刺殺さえしなければ、仏教が弾圧される」とはならない」と。

51年9月、法王が開いた集會では、結局、毛沢東のチベット支配は象徴的支配にとどまり、僧侶も仏教も、ダライ・ラマの神聖さも侵されはしないという希望を認めを結論とした。結果として、法王は「チベット地方政府」の名において、毛沢東に行政協定承認の手紙を送ったのだ。

この世紀の歴史を振り返れば、チベットと台湾に対する中国人支配の構図が似通っているの気がつく。共産党か国民党か、イデオロギーは異なるが、彼らは真民族支配の第一に中国人への同化政策を置く。

チベットで、中共軍は行政協定をすくんに反故にして、寺院の9割以上を破壊し、財宝を奪い、仏教を否定し毛沢東主義、共産主義の学習を強要した。今回の、3月10日以来のチベット人の抵抗に直面して、中国政府は僧侶に対する共産党大会の文献学習や愛国主義教育を強化したが、同様の政策はすでに60年近くも続いていたのだ。

さらに、チベット人からチベット語を奪い、中国語を習わせた。子供へのチベット語の命を奪った。人民解放軍の兵士をはじめ、多くの中国人をチベットに送り込んだ。中国人男性とチベット人女性の結婚は許すが、その反対は許さないのだ。こうしてチベット人は宗教と言語と民族の血を奪われつつある。

中国はチベットは中国領で、当然だと主張する。しかし、チベットは歴史的に見て中国の一部ではない。清政府はチベットの宗主国としての立場を主張したが、チベットを支配したわけではない。国民党も台湾を一度も支配したわけではなかったけれど、中共との戦いに敗れて逃れた先の台湾を自分たちの領土だと宣言した。両者の主張は日本固有の領土の尖閣諸島や東シナ海に対する主張

と同じである。チベット問題は台湾問題であり、尖閣問題であり、より大きな枠組みでの日中関係なのだ。

「チベット人がいま、命を賭して訴えているのは、彼らが最も大切にしている信仰を奪ったチベット民

族としての誇りを守る戦いぞ、21世紀の文明社会はたな勝戦であるのか、それ以外ののかという問いである」確実にチベット民族の消滅につながる中国の弾圧に目をふり、北京五輪を支援するのかと問っているのだ。

人権にかかわれば、と首相は語った。答えは明らかだ。幾千年来続いたひとつの富貴はたな勝戦の末に滅滅れよとされているのである。

文明の危機に直面する深い憂しみを共有する日本であれば、首相は中国に、四ちに抗議しなければならぬ。国際社会の前で、ダライ・ラマ法王と話し合い、チベット人虐殺と弾圧を止めさせ、国際機関をチベットに設置させ、チベット人の望む高度の生活を実現させ、チベット仏教の再生を可能にせよ。

それと書かないとしたら、福田首相には、日本を代表する富貴はないのである。したがって、私は失望と憤りをこめて「一日も早い首相の辞任を望むものである。

福田首相に申す

福田首相に申す

福田首相に申す

福田首相に申す

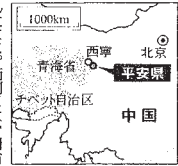
# ダライ・ラマ生家 嚴重監視

## 中国・青海省

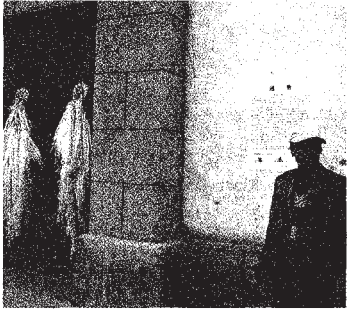
### 親類も軟禁状態

「ずっと山の奥の上。先で聞けばすべわかる」。10日、省都西寧市から延びる高速道路を下り、生家の所在を尋ねると、チベット族の住民らは驚いた様子もなく、教えてくれた。インダールから約40キロ、高度3000メートル級の山々を越えて平安県(同省)の生家に到着したのは午後5時過ぎだった。

正面の門扉は固く閉ざさ



【西寧へ中国青海省(加藤隆史)】中岡チベット自治区ラサチで大規模暴動が発生してから14日で1ヵ月を迎える。同自治区に隣接する青海省にあるチベット仏教最高指導者ダライ・ラマ14世(79)の生家は、当局の厳しい警備下に置かれ、外部との接触が制限され、現在する親類らは事実上の軟禁状態に置かれていた。(関連記事7面)



14世の生家正門(10日)中国青海省平安県で(加藤隆史撮影)

生家の壁に張ってあった通知「3月14日のラサチ暴動以降、不法分子による暴力、略奪、破壊活動が深刻化している」として、反政府活動などの即時停止と犯罪者の自首を呼びかけている(10日、青海省平安県で)

#### 通告

3月14日、ラサチで発生した暴動は、チベット自治区の平和と安定を脅かす重大な事件であり、我々チベット自治区の幹部と人民は、この暴動を強く非難し、これを断絶し、チベット自治区の平和と安定を確保することを決意している。我々は、この暴動の背後に隠れている不法分子を徹底的に捜索し、厳正に懲罰することを決意している。我々は、この暴動の犠牲者を哀悼し、死傷した人々の家族に慰問を申し出ている。我々は、この暴動の被害を受けた人々に、迅速に賠償を行うことを約束している。我々は、この暴動の発生を防止するために、チベット自治区の平和と安定を確保するために、我々が取るべき措置を厳格に実施する。我々は、この暴動の発生を防止するために、我々が取るべき措置を厳格に実施する。我々は、この暴動の発生を防止するために、我々が取るべき措置を厳格に実施する。

府への破壊行為やダライ・ラマの肖像や写真の制作、配布を禁止し、情報提供者には報酬が出るなどが書かれていた。

裏手に回り、戸をたたく

#### (参考図書)紹介

- 『ダライ・ラマ自伝』  
文春文庫(629円+税)
- 『中国はいかにチベットを侵略したか』  
マイケル・ダナム著  
講談社インターナショナル刊  
(1,800円+税)
- 『チベット史』  
ロラン・デエ著  
春秋社(5,000円+税)

(チベットとダライ・ラマを知る必読書)

読売新聞 H 20・4・13号

と男性が現れた。「あなた方はどこから?」記者は自身を乗ると当該した表情に一変し、「今は対応ができない。すぐに帰ってほしい」と敷地内に姿を消した。その後、付近の住民が「一日中は警官が何人もいてるさっき帰ったばかりだ」といってそり打ち明けた。

ダライ・ラマは出生後の数年間、この家で過ごした後、ラサチに転居。1959年のチベット動乱でインドに亡命した。今回の暴動で

中国政府はダライ・ラマを「首謀者」と非難しているが、今もダライ・ラマは高麗に住むチベット族の信託の中心。

ラサチの暴動に先立つ7月21日には、同県から南約150キロの黄南チベット族自治州同仁県で僧と警官の衝突事件が発生している。12日、発生現場を訪れると、若い僧が、軍隊が毎日部屋の捜索にやっつけている。ダライ・ラマの写真を持つといれば、すぐに連行される」と恐怖を抱いていた。



チベットの人々が拘束されている仲間、の釈放を求める僧侶たちの平和的なデモに対し、武装警察が強圧したことから今回の事件は始まった。北京オリンピックの成立すら危うくする程の広がりを見せている。聖火リレーへの抗議行動や、開会式への各国首脳の欠席など欧米を中心に、中国国政府への批判は強まるばかりだ。

今回のチベット騒乱は、中国側が嚆矢するような「暴動」ではない。1951年に人民解放軍がラサに入った「七・五」「自治」という名の「制圧」に対する、半世紀以上にも及ぶチベット人の民族自決の思いの噴出である。今回の騒乱について、ダライ・ラマが「文化的虐殺」という言葉を用いて、中国を非難したように、中国の

### 「文化的虐殺」の重さ

地方的同化政策は、チベット人から言語と宗教を奪ってきた。明治30年代前半、日本人として初めてチベットに入った河口慧海は、その記録『チベット旅行記』で、「当時秘境といわれたこの地を、「自ら仏陀の国土、観音の浄土と稱せざるべき、見るべき異彩あり」と言い、同じ仏教国の僧侶として、その深い宗教性を称えている。今、チベットで起きているのは、天に向かい、地に伏して祈ることで生きてきた民族の、その信仰の自由を求める叫びである。それは政治問題である以上に、文化の死活問題である。

日本が外交・経済等の「利益」で中国に黙然たる態度を示さないのは、戦後の平和国家日本の文化意識が、表面的で、如何に他国の宗教及び文化への認識が軽いのか。あつたかの証明ではないのか。

(文芸評論家・富岡幸一郎)

産経新聞 H 20・4・12号

#### ■チベット騒乱をめぐる経緯

- 《3月》
- 14日 ラサ市中心部で大規模暴動。商店や学校が破壊
  - 16日 チベット亡命政府がラサ騒乱で死者80人確認と発表
  - 同日 四川省アバ県で僧侶ら約2千人が治安部隊と衝突
  - 同日 甘肅省ルチュ県で僧侶ら数百人が抗議活動
  - 18日 温家宝首相が会見で、ダライ・ラマ14世一派が北京五輪破壊を狙い組織的かつ急入り企てた策動、と批判
  - 24日 ギリシャで北京五輪聖火採火式。演説妨害される
  - 26日 中国政府が一部外国メディアにラサを3日間公開
  - 同日 四川省カンゼ、チベット族自治州で大規模暴動
- 《4月》
- 6日 聖火リレーがロンドン入り。激しい抗議を受ける
  - 7日 聖火リレーがパリでも抗議を受ける
  - 9日 ミサンフランシスコで急きょコースを変更して聖火リレー

朝日新聞 H 20・4・13号

読売新聞 H 20・4・20号

#### チベット暴動をめぐる経緯

- 3月10日 ラサで僧侶らデモ
- 14日 ラサ中心部で大規模暴動
- 15～16日 甘肅省甘南チベット族自治州、四川省アバチベット族・チャン族自治州に暴動拡大
- 18日 温家宝首相、ダライ・ラマ14世の支持勢力が「北京五輪破壊を扇動した事件」と暴動を非難
- 同日 ダライ・ラマ、暴力的な抗議行動反対の立場を表明
- 26日 中国政府が指名した外国メディア取材団がラサ入り
- 29日 チベット亡命政府がラサでデモ発生と発表
- 4月3日 四川省甘孜チベット族自治州で暴動発生。5日、15人死亡との報道
- 5日 亡命政府、チベット族側死者150人以上と発表
- 6日 ロンドンの五輪聖火リレーで抗議行動。30人以上拘束。翌日のパリでは一部区間をバス搬送
- 7日 国際オリンピック委員会（IOC）ロゲ会長、聖火リレー混乱への憂慮を表明

資料二 中央人民政府とチベット地方政府の

チベット平和解放に関する協約(十七か条協定) 一九五一年五月二十三日

「中央人民政府和西藏地方政府關於和平解放西藏辦法的協議」  
(新華月報) 第四卷第一期、二七—二七頁

チベット民族は中国領土内において悠久の歴史をもつ民族の一つであり、その他多くの民族と同じく、偉大な祖国の創造と発展の過程において、自己の光荣ある責任を果たしてきた。しかし最近、百余年来、帝国主義は中国に侵入した。したがって、彼らはまたチベット地区にも侵入し、各種の欺騙と挑発を進めた。国民党反动政府はチベット民族に対し、それ以前の反动政府と同様、引き続きその民族的圧迫と民族離間の政策を採り、それによってチベット民族の内部に分裂と内結を生ぜしめた。そしてチベット地方政府は帝国主義の欺騙と挑発に反対せず、偉大な祖国に対して、非帝国主義的な態度をとった。これらの状況はチベット民族とチベット人民を奴隷化と苦痛の深淵に落としていた。一九四九年、中国人民解放戦争は全国的範囲で基本的勝利をかちとり、各民族共同の内部の敵、国民党反动政府を打倒し、各民族共同の外部の敵——帝国主義侵略勢力を駆逐した。この基礎の上に、中華人民共和国と中央人民政府が成立を宣言し、中央人民政府は、中国人民政治協商会議が通過させた共同綱領に基づき、中華人民共和国領土内の各民族が一律に平等であり、団結して相互援助を行い、帝国主義と各民族内部の人民の共同の敵に反対し、中華人民共和国を各民族が友愛によって合作する大家庭とすることを宣言した。中華人民共和国各民族の大家族においては、各民族民族の集居する地区で民族の区域自治が実行され、各少数民族が等しくその自己の言語文字を発展させ、その風俗習慣および宗教信仰を保持あるいは改革する自由を持った。中央人民政府は、各少数民族がその政治、経済および文化、教育を発展させる建設事業を援助した。これ以後、国内各民族は、チベットおよび台湾区域を除いていずれもすでに解放をかちとった。中央人民政府の統一の指導のもと、各少数民族はいずれもすでに民族平等の権利を充分に享受し、かつすでに民族の地方的自治を實行し、あるいはまさに實行しつつある。帝国主義侵略勢力のチベットにおける影響を順調に掃いて、中華人民共和国の領土と主権の統一を完成し、国防を維持し、チベット人民に解放をかちとらせ、中華人民共和国の大家庭に戻らせて、国内のその他の各民族と同じく、民族平等の権利を享受させ、その政治、経済、文化教育の事業を発展させるため、中央人民政府は人民解放軍にチベット進軍を命令した際、チベット地方政府に、代表を中央に派遣して交渉を行い、チベット平和解放の方法に関する協約の締結を便利ならしめるようにと通知した。一九五一年四月下旬、チベット地方政府の全権代表は北京に到着した。中央人民政府は直ちに全権代表を指名し、チベット地方政府の全権代表と友好的基礎のうえに交渉を行った。交渉の結果、双方は本協約を成立させることに同意し、かつこれを實行に移すことを保証した。

第一条 チベット人民は団結して、帝国主義侵略勢力をチベットから駆逐し、チベット人民

は中華人民共和国の祖国の大家族の中に戻る。

第二条 チベット地方政府は、人民解放軍がチベットに進駐して、国防を強化することに積極的に協力を援助する。

第三条 中国人民政治協商會議共同綱領の民族政策に基づき、中央人民政府の統一の指導のもと、チベット人民は民族区域自治を實行する権利を有する。

第四条 チベットの現行政治制度に対しては、中央は変更を加えない。ダライ・ラマの固有の地位および職権にも中央は変更を加えない。各級官吏は従来通りの職に就く。

第五条 パンチエン・エルデニの固有の地位および職権は維持されるべきであり、

第六條 ダライ・ラマ、およびパンチエン・エルデニの固有の地位および職権とは、十三世ダライ・ラマおよび九世パンチエン・エルデニが互いに友好関係にあった時爵の地位および職権を指す。

第七條 中国人民政治協商會議共同綱領が規定する宗教信仰自由の政策を實行し、チベット人民の宗教信仰と風俗習慣を尊重し、ラマ寺廟を保護する。寺廟の收入には中央は変更を加えない。

第八條 チベット軍は逐次人民解放軍に改編し、中華人民共和国国防武装兵力の一部とする。

第九條 チベットの実際状況に基づき、チベット民族の言語、文字および学校教育を逐次発展させる。

第十條 チベットの実際状況に基づき、チベットの農、牧畜、商工業を逐次発展させ、人民の生活を改善する。

第十一條 チベットに関する各種の改革は、中央は強制しない。チベット地方政府は自ら進んで改革を進め、人民が改革の要求を提出した場合、チベットの指導者と協議する方法によつてこれを解決する。

第十二條 過去において帝国主義と親しかった官吏および国民党と親しかった官吏は、帝国主義および国民党との関係を断絶し、破壊と反抗を行わない限り、そのまま職にあり、過去は問わない。

第十三條 チベットに進駐する人民解放軍は、前記各項の政策を遵守する。同時に取引きは公正にし、人民の針一本、糸一本といえども取らない。

第十四條 中央人民政府は、チベット地区の一切の涉外事項を統一して処理し、かつ平等、互恵、および領土主権の相互尊重という基礎の上に隣邦と平和な関係を保ち、公平な通商貿易関係を樹立発展させる。

第十五條 本協約の施行を保障するため、中央人民政府はチベットに軍政委員および軍区司令部を設立する。中央人民政府が派遣する人員以外に、できるだけチベット地方の人員を吸収して工作に参加させる。

第十六條 本協約に参加するチベット地方の人員には、チベット地方政府および各主要寺廟の愛国分子を含むことができ、中央人民政府が指定する代表と関係各方面が協議して名簿を提出し、中央人民政府に任命を申請する。

第十六条 軍政委員会、軍区司令部、およびチベット進駐人民解放軍の所要経費は、中央人民政府が支給する。チベット地方政府は、人民解放軍の食糧およびその他、日用品の購買と運輸に協力するものとする。

第十七条 本協約は署名捺印ののち、直ちに効力を発する。

中央人民政府全權代表

主席代表

李維漢 (署名捺印)

代表

張経武 (署名捺印)

張国華 (署名捺印)

孫志遠 (署名捺印)

チベット地方政府全權代表

首席代表

代表

阿沛・阿旺晋美 (署名捺印)

凱靈・索安旺堆 (署名捺印)

土丹・旦達 (署名捺印)

十登・列丹 (署名捺印)

桑頗・登增頓珠 (署名捺印)

一九五一年五月二十二日 北京にて

出典

『チベットわが祖国』

ダライ・ラマ著

中公文庫